

2026年3月期 第1四半期連結決算ハイライト

2026年3月期 第1四半期決算の概要

・本年度第1四半期決算は、リサイクルメタル事業や海外販売子会社において取引が拡大した結果、売上高は前年同期比3%増の6,398億円となりました。また、鉄鋼事業やエネルギー・生活資材事業の採算が改善したこともあり、営業利益は前年同期比11%増の145億円に、経常利益は前年同期比13%増の140億円に、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8%増の99億円となりました。

・年間配当は250円（中間配当125円、期末配当125円）を予定しております

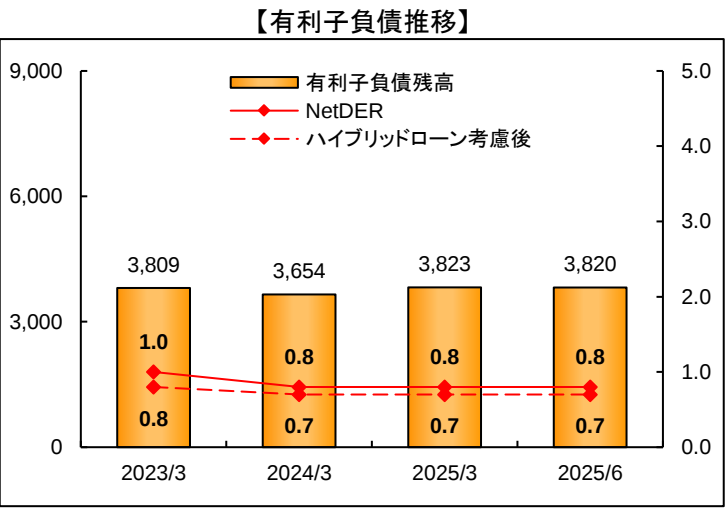
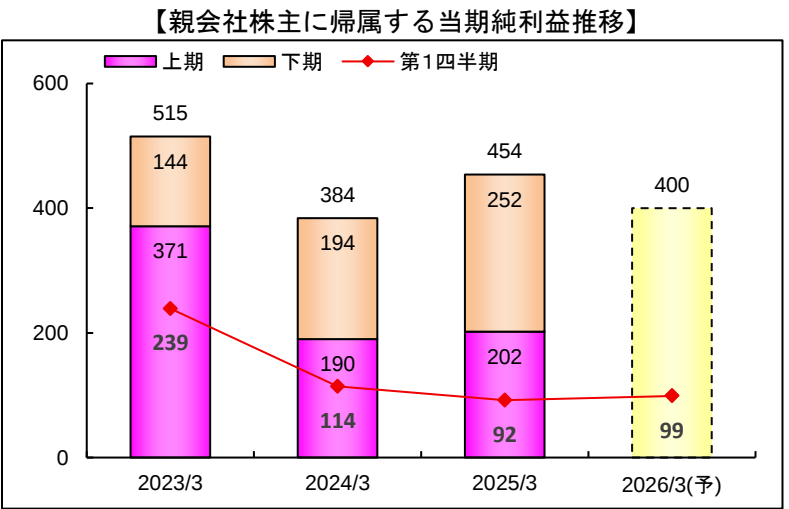
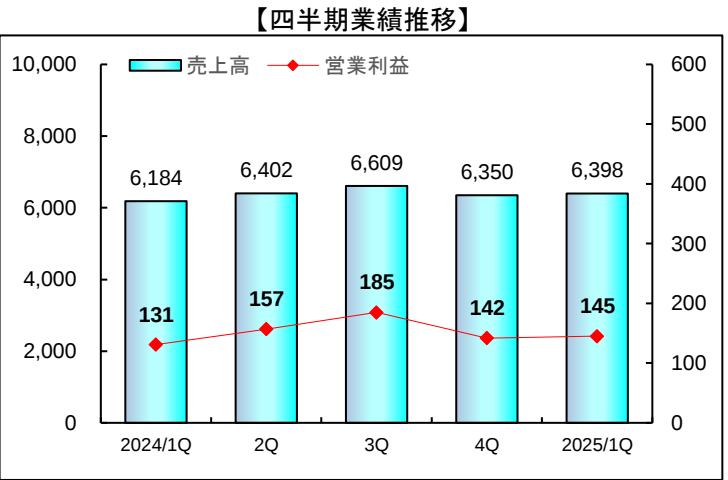
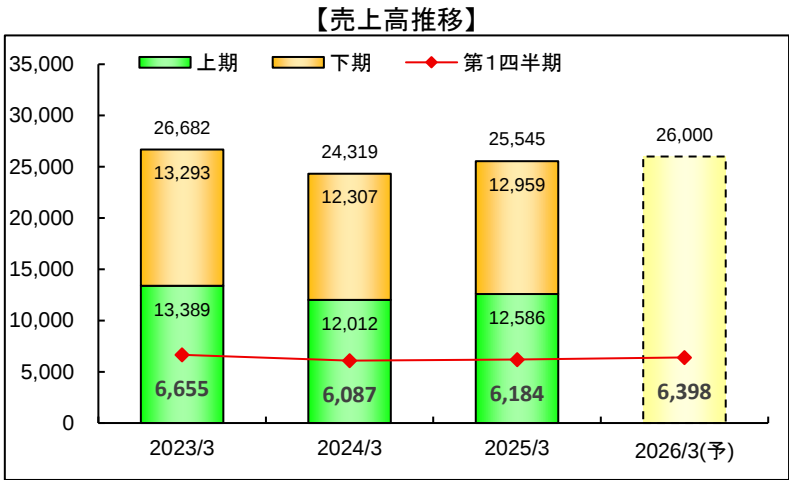
経営成績	前第1四半期 （累計）	当第1四半期 （累計）	前年同期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	6,184	6,398	214	3%	（売上高） リサイクルメタル事業や海外販売子会社において取引が拡大した結果、前年同期比3%増の6,398億円となりました。 （販管費） 前年同期比で12億円（新規連結子会社の影響額は3億円）の増加でした。その内、人件費は5億円（新規連結子会社の影響額は1億円）の増加でした。 （営業外損益） 営業外収益は4億円減少、営業外費用は6億円減少しました。経常利益に対する主な影響は以下の通りです。 為替差益：前年同期比で13億円の増加 支払利息：前年同期比で3億円の減少 持分法投資損失：前年同期比で18億円の増加 （特別利益） 投資有価証券売却益：前年同期比で11億円の減少 関係会社出資金売却益：前年同期比で3億円の減少 （特別損失） 投資有価証券売却損：当期において1億円の発生
売上総利益	314	341	27	9%	
販管費	183	195	12	7%	
営業利益	131	145	14	11%	
営業外収益	34	29	△4	△13%	
営業外費用	42	35	△6	△16%	
経常利益	123	140	16	13%	
特別利益	14	—	△14	—	
特別損失	—	1	1	—	
税引前四半期純利益	137	138	0	0%	
法人税等	44	42	△1	△4%	
四半期純利益	93	95	2	2%	
親会社株主帰属分	92	99	7	8%	
非支配株主帰属分	1	△4	△5	—	
E P S	227.66円	247.90円	20.24円	9%	
四半期包括利益	136	31	△105	△77%	

セグメントの状況	売上高			セグメント損益（経常損益）			主な要因
	前第1四半期	当第1四半期	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減率	
鉄鋼	2,939	2,700	△8%	77	97	26%	（鉄鋼） 各種鋼材の取扱数量の減少や価格の下落などが収益を押し下げました。一方、建設資材の販売が堅調に推移したことや一部の海外子会社で採算が改善したことなどが利益を押し上げました。 （プライマリーメタル） ステンレス製品の取扱数量が増加したことや一部の副資材の販売が堅調に推移したことなどが収益を押し上げました。一方、SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD. からの持分法による投資損益がマイナスに転じたことが利益を押し下げました。 （リサイクルメタル） 鉛鉱石の取扱数量が増加したことなどが収益を押し上げました。一方、アルミやニッケルの相場下落の影響などが利益を押し下げました。 （食品） 米国子会社で外食産業向け販売が好調に推移したことや、新規連結子会社の業績などが収益・利益を押し上げました。 （エネルギー・生活資材） 原油価格下落の影響はあったものの、ウッドペレットの販売が堅調に推移したことや、一部の子会社で採算が改善したことなどが収益・利益を押し上げました。 （海外販売子会社） 東南アジアでスクラップ取引が拡大したことや、新規連結子会社の業績などが収益・利益を押し上げました。
プライマリーメタル	458	551	20%	11	△5	—	
リサイクルメタル	540	640	18%	7	△0	—	
食品	293	356	22%	3	9	151%	
エネルギー・生活資材	936	936	0%	14	24	68%	
海外販売子会社	975	1,184	21%	16	18	13%	
報告セグメント計	6,143	6,369	4%	132	143	9%	
その他	320	312	△2%	9	6	△33%	
合計	6,464	6,682	3%	141	150	6%	
調整額	△279	△283	1%	△18	△10	△45%	
PL計上額	6,184	6,398	3%	123	140	13%	

トピックス	4月 兼松トレーディング株式会社の株式の100%を取得（協和スチール株式会社、永和金属株式会社、株式会社建鋼社、協和運輸株式会社も同時にグループ会社化）。
-------	---

阪和興業株式会社
（単位：億円 億円未満切捨て）

財政状態	前期末	当第1四半期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	11,658	11,417	△240	△2%	（総資産） 棚卸資産や売上債権の減少などにより、前期末比2%減となりました。
（流動資産）	9,037	8,830	△206	△2%	
（固定資産）	2,621	2,586	△34	△1%	
負債	7,763	7,542	△220	△3%	（負債） 仕入債務や未払法人税等の減少などにより、前期末比3%減となりました。有利子負債は0.1%減少し、Net DERは0.8倍（*0.7倍）となりました。
（グロス有利子負債）	3,823	3,820	△3	△0%	
（ネット有利子負債）	3,170	3,075	△94	△3%	
Net DER	0.8/0.7*倍	0.8/0.7*倍	0.0倍	△3%	（純資産） 親会社株主に帰属する四半期純利益からの積み上げがあった一方で、為替換算調整勘定の変動や自己株式の取得などにより、前期末比1%減となりました。自己資本比率は、前期末比0.6ポイント上昇の33.4%（*35.6%）となりました。 （*ハイブリッドローン考慮後のNet DER及び自己資本比率）
純資産	3,894	3,874	△20	△1%	
（株主資本）	3,396	3,441	44	1%	
（その他の包括利益累計額）	433	372	△60	△14%	
（非支配株主持分）	64	60	△4	△6%	
B P S	9,485.64円	9,504.05円	18.41円	0%	
自己資本	3,830	3,814	△16	△0%	
自己資本比率	32.9/35.0*%	33.4/35.6*%	0.6pt	2%	



通期の見通し	前期実績	通期業績予想		配当の状況	前々期実績	前期実績	当期予想
		予想	対前期増減率				
売上高	25,545	26,000	2%	中間期	85.00円	105.00円	125.00円
営業利益	615	550	△11%	期末	100.00円	120.00円	125.00円
経常利益	597	550	△8%	年間配当	185.00円	225.00円	250.00円
親会社株主に帰属する当期純利益	454	400	△12%	D O E*	2.7%	3.0%	3.0%

* DOE（株主資本配当率）＝配当総額÷期首株主資本